

2025年6月19日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
(コード番号：4572)
問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美
(TEL：078-302-7075)

チーフメディカルオフィサー (CMO) の設置に関するお知らせ

当社は、本日、チーフメディカルオフィサー（以下、「CMO」）を設置することを決定し、吉田浩二氏（医師・医学博士）が就任したことをお知らせいたします。

同氏は、がん領域における豊富な臨床経験を有し、アカデミアを中心に多くの臨床研究を主導してきました。また、国内外の大手製薬企業、創薬バイオベンチャーにおいて、CMOならびに開発・メディカルアフェアーズ・オンコロジー部門の責任者を歴任し、医薬品開発に長年従事してまいりました。同氏のCMO就任は、当社内における医学的専門性の一層の強化をもたらし、当社パイプラインの開発の戦略的推進に大きく寄与するものと考えております。

チーフメディカルオフィサー (CMO)

氏名： 吉田 浩二

略歴： 医師・医学博士。1996年に大阪大学医学部を卒業後、大阪大学医学部附属病院等にてがん治療臨床医として勤務。大阪大学大学院を修了後、東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター研究員および同附属病院助教として、腫瘍免疫療法の臨床試験の主任研究者を務める。

2008年にオンコセラピー・サイエンス株式会社に入社し、その後、同社のCMOに就任。

2014年より、アストラゼネカ株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、Johnson & Johnson Innovative Medicineなどにおいて、開発およびメディカルアフェアーズ・オンコロジー部門の責任者を歴任。その他、大塚メディカルデバイス株式会社にて、事業開発にも携わる。

以上

(カルナバイオサイエンスについて)

カルナバイオサイエンス株式会社は、アンメット・メディカル・ニーズの高い未だ有効な治療方法が確立されていない疾患を中心に、特にがん、免疫・炎症疾患を重点領域として画期的な新薬の開発を目指して研究開発に取り組んでいるバイオベンチャー企業です。

現在までに、複数のパイプラインの導出実績があり、2019年には、米国ギリアド・サイエンシズ社

(以下「ギリアド社」)に、当社が創出した新規脂質キナーゼDGK α 阻害剤のプログラムを導出したしました。ギリアド社は現在、本プログラムから見出されたDGK α 阻害剤GS-9911について、固形がん患者を対象としたフェーズ1試験を進めています。(NCT06082960)

また、当社は現在、臨床開発段階にある3つのパイプラインを保有しています。そのうち、BTK阻害剤 docirbrutinib (AS-1763、対象疾患:CLLなどの血液がん)については、米国において、テキサス大学MDアンダーソンがんセンター白血病科教授 Nitin Jain医師を治験主導医師として、フェーズ1b試験を実施中です。(NCT05602363)

当社ホームページ: <https://www.carnabio.com/japanese/>